

八戸産学官連携推進会議、市都市研究検討会

2組織 新年度に統合

事業の実効性高める



八戸市都市研究検討会との統合を了承した八戸産学官連携推進会議
11月26日、八戸市庁

八戸市などは26日、市庁で「八戸産学官連携推進会議」と「市都市研究検討会」の会合を開き、新年度から両組織を統合することで合意した。市内の高等教育機関などによる公開講座「八戸地域学」を継続するほか、人口減少の抑制に向けた方針を盛り込んだ「八戸未来創造中長期計画」の見直しなどに取り組み、より実効性ある事業展開につなげる。

構成団体は八戸産学官連携推進会議が市、八戸商工会議所、八戸学院大、八戸学院大短期大学部、八戸工業大、八戸高専。市都市研究検討会とは市、八戸学院大、八戸工業大、八戸高専で重なる部分が多かった。地域シンクタンクとして政策課題を調査研究していた都市研究検討会を本年度で終了し、産学官連携推進会議の中に新設する「連携推進会議事業検討部会」として位置付ける。事務局は八戸学院大から市政策推進課に変更する。

新年度は外国人材の活用意向を調査するため、市内の事業所にアンケートを実施。八戸地域学の講義を計3回実施する見通しだ。2組織の会合では、「中長期計画はより具体的なプランを立てる必要がある」「大学と企業が手を組んで事業を展開できれば、学生募集の面で大きなインパクトとなる」などの意見が出され、より実効性のある施策提案に取り組むことを確

認した。
熊谷市長は「これまでの提言が施策に生かされているのか新体制で検証する必

要がある。提案で終わらず事業に落とし込んでいく」と意気込みを示した。
(田村祐子)